

第8回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成28年2月10日（水） 午後3時00分～5時15分

会場：青谷町総合支所 第2会議室

【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、長谷川和郎、濱江康雄、奥谷吉男、鈴木光頼、北村佳子、松岡礼子、長谷川英二、上田洋子

以上10名（敬称略）

【欠席委員】

瀧洋子、津本和美

以上2名（敬称略）

【事務局】

国森支所長、武田副支所長兼地域振興課長（併教育委員会分室長兼中央公民館長）、秋田市民福祉課長、山本産業建設課長、早川水道局営業所長、長田地域振興課課長補佐

【日 程】

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

報告事項

- 1) 青谷高等学校を取り巻く状況について
- 2) 集落实態調査について
- 3) 過疎法について
- 4) 平成28年度地域振興特定予算について

協議事項

- 1) 公共施設再配置基本計画の策定について
- 2) 青谷町版総合戦略について

4 その他

5 閉 会

◎議事概要◎

青谷高等学校を取り巻く状況について

【事務局】平成28年2月2日、鳥取県議会総務教育常任委員会が岩美高等学校、智頭農林高等学校、青谷高等学校の視察をされ、青谷高等学校の視察には支所も参加し

ました。視察の中で、鳥取市（青谷高等学校）の取り組みが明確ではない等の意見がありました。状況については、2月定例会市議会において説明したいと考えているところです。

また、今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針が3月に公表されますので、4月頃に開催される青谷中学校と西部地域の小学校のPTA総会で説明をさせていただこうと考えています。

集落实態調査について

【委員】「生活する上で行政に協力してほしいこと」の結果を見ると、除雪と外灯の整備が上位になっている。どのように考えているのか。

【事務局】除雪については、除雪機の貸出制度がありますので、各集落で検討していただきたいと思います。しかし、行政では追いつかない集落内の道路などについては、集落での実施をお願いしたいと考えています。

また、外灯につきましては、県道等に設置する「街路灯」と地域で管理していただく「防犯灯」があります。防犯灯は要望していただければ設置が可能となっています。

【委員】集落实態調査の結果は公民館以外にも設置しないのか。

【事務局】支所だよりに掲載したいと考えています。

過疎法について

【事務局】過疎法の概要を説明

平成28年度地域振興特定予算について

【事務局】各総合支所がどのような事業を実施しているのか、一覧表で説明

公共施設再配置基本計画の策定について

【委員】公民館とグラウンドは地域のコミュニケーションの場であるので、なんとか存続してほしい。

【委員】スポーツ施設として、青谷町体育館と農林漁業者トレーニングセンターがあるが、トレーニングセンターは6箇所くらい雨漏りがしている。2施設を1施設とし、全国大会が開催できるような新たな施設の建設を検討できないか。

【委員】青谷地域の人口が減少している状況の中、市営住宅の廃止は考えられない。

【委員】公共施設の再配置を進めるにあたっては、避難施設、場所等、町全体の防災（避難）との関わりを考えてほしい。

【事務局】

これらのご意見に対しても十分に検討していきたいと考えていきます。

青谷町版総合戦略について

「人口減少対策」「まちの賑わい対策」「まちのリーダー対策」について、委員の皆さんで議論していただきました。

- ・人口減少の原因を探る必要がある。転出された方のアンケートを取れないものか。
- ・難しい問題であるので、良い意味で開き直り、まちの光るものをPRしてはどうか。
- ・地域創造学校が2年目となり、あいさつを通して地域に貢献したり、フォーラムも開催している。小学校が統合され9年になる今、地域との繋がりが薄れているので、もっと地域が子どもに関わることができればと思う。
- ・青谷地域には、保育園、小学校、中学校、高等学校がある。すべて絡めると面白いのではないか。
- ・毎年の学力調査の結果によると、地域活動に参加して入る子どもは多い。課題は高校卒業後である。
- ・青谷は面白い、魅力づくりが必要である。
- ・子どもが少ないのが一番の問題だが、地元の行事に若者が参加しないことも問題である。
- ・結婚を機に町外に住んでしまうのが人口減少の原因だろう。男性が町外の相手と結婚する場合、町外に住んでしまう。
- ・人口増加は無理、結婚後の親と同居は考えられない。家を建てる場合、便利が良いところを選ぶ。
- ・昨年、フットパスに参加したが、青谷はとっても良いところとの声が参加者から多く聞かれた。
- ・地域おこし協力隊を配置してはどうか。
- ・まちづくり協議会が形骸化している。一年任期の委員が多いことを見直すことも必要である。
- ・ジオガイドの団体が立ち上がるが、これらを活用し、魅力を発信できれば。
- ・以前、一万人G○G○G○作戦という事業があった。成果はわからないが、インパクト的には良い制度であったと思う。
- ・我が子は、一度は県外に出したいと思う。

【次回青谷地域振興会議の開催予定】

平成28年度第1回地域振興会議は4月の開催を予定しています。詳細は未定です。決まりましたら、支所だより又は鳥取市ホームページでご案内します。